

平成 26 年度第 1 回白井市障害者計画等策定委員会 会議要録

1. **開催日時** 平成 26 年 6 月 23 日（月） 午前 10 時から 11 時 50 分まで
2. **開催場所** 保健福祉センター 2 階 研修室 2
3. **出席者** 伊澤市長、吉武委員、高柳委員、亀山委員、黒澤委員、吉田委員、上野委員、松本委員、鶴岡委員、林委員、宮沢委員、福岡委員、竹原委員、中村委員、堀切委員、梨本委員
4. **欠席者** なし
5. **事務局** 部長、小松課長、岡本副主幹、國裕主任主事
6. **傍聴者** なし
7. **議 題**
 - ①委員長及び副委員長の選出 (公開)
 - ②白井市障害者計画等策定方針について (公開)
 - ③アンケート調査の実施について (公開)

8. 議 事

◇開 会

◇委嘱状の交付（委嘱状交付式）

◇市長あいさつ

◇事務局からの報告事項

- ・配付資料の確認、当日、障害当事者をサポートする「補助者」が出席している旨の報告、および「白井市附属機関条例」第 6 条（会議）の説明。

◇第 1 回白井市障害者計画等策定委員会

1 委員自己紹介

2 議題

（1）委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長に竹原委員、副委員長に林委員が推薦され、承認。

（2）白井市障害者計画等策定方針について

- ・事務局による資料の説明。

委員長 今の説明について何かご質問はございますか。

委員 現行の 2 種類の計画書を送付してほしいです。それと、「障害者総合支援法」体制になったことによる具体的な変更点はどのような点でしょうか。

事務局 難病の患者が、障がい者の一部として認定されるようになったことや、「基本理念」等も変わっています。冊子は残り少ないので、コピーをとって対応したいと思います。

委員長 “「障害程度区分」の仕組みが「障害支援区分」へと変わった” というのもあり、重要な変更点となっています。

委員 現行の体制では精神も含めて“3障害”が主な支援対象となっているわけですが、他に比べて「精神」は、支援の中核となる佐倉保健所も病院医師等も遠いし、サポート体制が弱いのではないのでしょうか。また、保健所の権限は市役所においてきているのでしょうか。

事務局 あまり意識していませんでしたが、確かに、身体、知的の2障害と比べると、PSW（精神保健福祉士）も入れて地域における支援体制づくりを行っているところではありますが、まだまだ進んでいないと言うべきかと思います。保健所との連携は意識していませんでしたが、こと“計画作り”の体制に関しては、この15人の委員で問題ないと考えています。

委員長 家族会選出の委員も入っているので、そのご意見を丁寧に聴きながら討議を進めていけば良いと思います。

委員 “障害（者）”という用語（表記）が差別的なニュアンスなのではないか、という議論があるが、本市では今までにこの件で議論されたことはありますか。

事務局 ずばり障害分野では無いが、平成24年度に、「地域福祉計画」策定の過程で一度議論が出たことがあります。結果、法律等の決まった用語（国）や施設の固有名詞などについては“障害（者）”と漢字表記で、またそれら以外の場合にあっては“障がい（者）”と平仮名表記で、書き表していくことになりました。

委員 会議の開催スケジュールについてですが、毎月 の例えば上／中／下旬であるとか、曜日、また午前中あるいは午後等、ある程度予め決めておいた方が良いと思います。

事務局 開催の年間スケジュールを、なるべく予め先取りして決めておくようにしたいと思います。

委員 この策定作業も、“コンサルタント”の力を借りつつ進めることになると思うが、今回はコンサルタントがどこまで手伝う手筈になっているのでしょうか。

事務局 「仕様書」に沿う形で支援を頼むこととなりますが、具体的には「現行両計画の進捗・達成状況等の検証と課題の分析、アンケート調査の実施支援・入力・集計・結果報告書の作成、障がい関連団体等ヒアリングの支援、また基礎的資料の整理と現状・課題の分析」等の依頼となります。

委員 今まで幾つかの計画の策定に関わってきた経験で、コンサルタントが入っている事業の場合、コンサルタントの意向に沿った計画が仕上がってしまい、自分たちの思いとは違った内容になったことが多いと感じています。“コンサルタント任せ”にはしないでほしいです。私たちの希望はどこまで担保されるのでしょうか。

事務局 庁内検討組織の中に財政課のメンバーを入れて対応していきます。

委員 同時に「総合計画」策定も進行していると思うが、そのスケジュールの報告はどのように行うお考えでしょうか。

事務局 策定の事務局同士で、お互いの情報の共有を図りながら進めていきます。また、我々の計画の策定庁内組織には、財政課の人間の他に「総合計画」担当である

企画政策課の職員も入っております。また、その都度委員の皆様にご挨拶をしたいと思います。

委員長 この計画は、内容もさることながら、計画を作るまでのプロセスそのもの、また作った後のことも大事になると考えます。きちんと数値の裏付けをして、その都度委員にご挨拶、コンサルに丸投げはしないということによろしいでしょうか。

事務局 (承認)

委員 少し違った趣旨の話になるが、資料等は、なるべくわかり易いものを作るよう心がけていただきたいです。また、説明時についてもあまり速く読み上げないでもらいたいと思います。

事務局 (承認)

(3) アンケート調査の実施について

・事務局による資料の説明。

委員 「精神」の分野については、手帳取得者が少ないので、対象は手帳所持者に限定するのではなく「自立支援医療（精神通院）」制度の利用者にまで広げてはどうか。

事務局 検討して次回までに回答します。

委員長 枚数は全数ですか。

事務局 そうです。

委員 前回、平成 17 年度等の調査の回収率はどうだったのでしょうか。また、誰が記入者であるのかについては分かりますか。回答の信用性はあるのでしょうか。

事務局 回収率は後程お送りします。なお、今回調査票（案）では回答記入者が誰であるか問う質問を入れてあります。回答は基本的に本人についての内容だと思います。

委員 ふざけて書いているような人はいなかったのでしょうか。

事務局 前は殆どの回答者がきわめて真面目に答えてくれたように思います。

委員 私は、前回の回答率はあまり高くなかったのではないかと考えています。内容が難しいし、量も多いです。回収率を高めるためには、わかり易く答え易くする工夫が必要であると思います。

委員長 この調査の実施に当たって、民生委員・児童委員連絡協議会や市内の関連施設等に実施の案内は行うのですか。行うと良いと思いますが。

事務局 検討いたします。

委員 アンケート「案」の作成に当たって、障がいをもつ当事者の意見等はきいたのでしょうか。

事務局 その段階ではご意見はきいておりません。経年比較のための内容や国からの雛型を参考にしています。そうした事情からも、この会議の委員の皆様のご意見

等は貴重であり、是非色々ご意見を頂戴したく思います。

委員 内容をより白井市に沿ったものにする方が回収率アップにつながるのではないのでしょうか。

事務局 これで決定というわけではないので、内容は次回検討したいと思います。

委員 時系列を見ていきたいのなら修正は最小限がよいと思いますが、ニーズも大事だと思います。どちらにウェイトを置くのでしょうか。

事務局 それについてはご意見を賜っていききたいと思います。

委員 「自由記入」欄が調査票によって欄が小さいものがあります。全体のレイアウト上仕方がないこととは思いますが、その場合は“書き切れないときは、別紙を付け加えてご記入いただいても結構です。”といった文言を質問文に書き加えてもらいたいです。

また、個人情報の取り扱いに非常に敏感になっている世相も踏まえて、その種の文言も、カガミのページにより詳細に書き込んだ方が安心して記入できると思います。

事務局 スペース的な問題もありますので検討いたします。別紙の件は採用したいと思います。

委員 次回から、ご発言時には各位にマイクをお使いいただきたいです。

事務局 (承認)

委員長 議事録についてはどうなりますか。

事務局 要録とし、内容については皆様にご覧いただき確認を取りたいと思います。

委員 録音をしているということだが、予め言ってほしいです。個人名は入れないのですか。

事務局 はい。入れません。

委員 アンケート調査に対する意見等の〆切りの7月1日は、できるだけもう少し後ろにしてほしいと思います。

事務局 締め切りは4日にいたします。

(4) その他

事務局 年間スケジュールは次回までに用意いたします。

次回の当会議は、7月25日の14時からの開催で、場所は市役所のほうの4F会議室を予定しております。

◇ 閉 会

・閉会が宣言された。

・使用した資料

① 会議次第

- ② 白井市付属機関条例
- ③ 白井市障害者計画等策定方針
- ④ アンケート調査の実施方法
- ⑤ アンケート調査スケジュール（案）
- ⑥ アンケート調査票（案）
 - ・障害のない一般市民用
 - ・身体障害者用
 - ・知的障害者用
 - ・精神障害者用
 - ・難病患者用
- ⑦ 白井市審議会等の会議の公開に関する指針（当日追加資料）
- ⑧ 「調査票に関する意見について」－意見等提示フォーム（当日追加資料）

以上